

論点整理と調査報告書の関連性を踏まえ議論の材料としたいポイント（案）

骨子案の流れ	論点 (座長たたき台)	調査会での提出資料等からの議論材料のポイント	議員の認識に対する見解（メモ欄）	引用資料
(2) 議会・議員の活動状況等		(2) 市議会の変遷、議会の活動状況等		
・議員アンケート調査結果	I (2) 議会の監視機能など議会機能との関係 (3) 住民代表としての議員の役割	<p>オ 全市議会議員の活動状況（議員活動を把握するためのアンケート調査結果）</p> <p>(ア) 議員の主な活動範囲 市域全体 20 人、区域 17 人、区の一部 6 人、中学校区 2 人、小学校区 1 人</p> <p>(イ) 1 日あたりの議員の政務活動時間 ・平日 5～6 時間 20 人、7～8 時間 15 人、4 時間以内 5 人、9～11 時間 5 人、12 時間超 1 人 ・土日祝 4 時間以内 20 人、5～6 時間 19 人、7～8 時間 5 人、9～11 時間 1 人、12 時間超 1 人</p> <p>(ウ) 1 日あたりの政治活動時間 ・平日 4 時間以内 35 人、5～6 時間 8 人、7～8 時間 2 人、12 時間超 1 人 ・土日祝 4 時間以内 33 人、5～6 時間 10 人、7～8 時間 3 人</p> <p>(エ) 地域活動時間 年平均 103.4 日、月平均 27.9 時間 主な活動内容（上位 3 つ） 地域イベント、自治会、社会福祉</p> <p>(オ) 1 月あたりの休日 ・1～4 日以内 34 人、0 日 6 人、5～8 日 6 人</p> <p>(カ) 議員として重きを置いて取り組んでいること（上位 5 つ） ・道路・河川 18 人、子ども 18 人、福祉 17 人、地域活性化 14 人、学校教育 12 人</p> <p>(キ) 市民や企業・団体等との意見交換の機会 ・設けている 46 人（年複数回 17 人、月複数回 17 人、月 1 回 4 人、年 1 回 2 人、週 1 回 2 人、週複数回 2 人） ・対象（自治会関係者 41 人、支援者 40 人、団体 27 人、企業 13 人） ※上位 4 つ ・テーマ（市政情報 41 人、地域課題 41 人、相談聴取 31 人、意見交換 31 人） ※上位 4 つ</p> <p>(ク) 意見交換以外での情報発信方法 ・発信している 45 人 ・活用ツール（SNS 31 人、会報 25 人、広報紙 24 人、折り込み広告 17 人） ※上位 4 つ</p> <p>(ケ) 市民等からの相談 ・相談回数（週に数回 21 人、月に数回 17 人、ほぼ毎日 7 人、年に数回 1 人） ・相談内容（道路 41 人、福祉 33 人、教育 29 人、地域交通 29 人、防災 29 人） ※上位 5 つ</p> <p>(コ) 市民からの相談をきっかけに要望・請願・陳情・改善・政策提言・議会質問・委員会質疑につながった事例 ・ある（46 人）、回数（20 回以上 24 人、複数回 14 人、十数回 7 人、1 回 1 人） ・内容（道路 40 人、教育 35 人、福祉 30 人、防災 27 人、子育て 26 人） ※上位 5 つ</p> <p>(ク) 地域の声が行政に届きにくくなったという声 ・有無（聞いたことがある 15 人、聞いたことがない 31 人）</p>		<p>第 1 回 資料 2-1 12 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 4 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 5 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 6 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 7 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 8 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 9 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 10, 11 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 12 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 13, 14 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 15, 16 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 17 頁</p> <p>第 2 回 資料 7 23～25 頁</p>

論点整理と調査報告書の関連性を踏まえ議論の材料としたいポイント（案）

骨子案の流れ	論点 (座長たき台)	調査会での提出資料等からの議論材料のポイント	議員の認識に対する見解（メモ欄）	引用資料
		<p>(シ) 議員活動がわかりにくいという声 ・有無（聞いたことがある 26 人、聞いたことがない 20 人）</p> <p>(ス) 住民代表としての役割の達成 ・大いに果たしている 6 人、概ね果たしている 33 人、あまり果たしていない 0 人、果たしていない 1 人、努力はしている 5 人、わからない 1 人</p> <p>(セ) 役割を果たすため、心がけていること（上位 3 つ） ・<u>地域課題を解決する 28 人、住民と行政の橋渡しをする 25 人、地域課題を把握する 24 人</u></p> <p>(リ) 今後、浜松市議会が積極的に取り組まなければいけないこと ・市に対する監視機能の強化 16 人、<u>市政への活発な政策提言 44 人</u>、議会の政策立案機能の充実 30 人、議会改革の徹底 14 人、<u>広聴・広報機能の充実 30 人</u>、コストの削減 7 人</p> <p>(タ) 議員活動に対する満足感 ・満足している 26 人、満足していない 20 人</p> <p>(チ) 議員活動に対する繁忙感 ・<u>忙しいと思っている 39 人、忙しいと思っていない 7 人</u></p>		<p>第 2 回 <u>資料 7</u> 17 頁 第 2 回 <u>資料 7</u> 26, 27 頁</p> <p>第 2 回 <u>資料 7</u> 18 頁</p> <p>第 2 回 <u>資料 7</u> 18 頁</p> <p>第 2 回 <u>資料 7</u> 19 頁 第 1 回 <u>資料 2-1</u> 14 頁 第 1 回 <u>資料 2-2</u> 12, 13 頁</p> <p>第 2 回 <u>資料 7</u> 22 頁</p> <p>第 2 回 <u>資料 7</u> 22 頁</p>

論点整理と調査報告書の関連性を踏まえ議論の材料としたいポイント（案）

骨子案の流れ	論点 (座長たき台)	調査会での提出資料等からの議論材料のポイント	議員の認識に対する見解（メモ欄）	引用資料
<p>・議員ヒアリング事前アンケート結果</p>	<p>I (4) 現議員の意向</p>	<p>カ 9人の市議会議員へのヒアリング結果</p> <p>○議員定数について</p> <p>(ア) 増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えるか <u>現状維持 5人</u>、<u>減員 2人</u>、その他 2人</p> <p>(イ) 天竜区の定数について、増員、減員、現状維持のいずれが良いと考えるか <u>現状維持 5人</u>、<u>減員 2人</u>、その他 2人</p> <p>(ウ) 今回の定数見直し後、一定期間定数を見直さないか、見直しについては常に検討するか <u>一定期間見直さない 6人</u>、<u>必要に応じて見直す 2人</u>、常に見直しを検討する 1人</p> <p>○常任委員会について</p> <p>(ア) 現在の常任委員会の数をどのように考えるか <u>現状維持 6人</u>、<u>増（分割） 3人</u></p> <p>(イ) 現在の各常任委員会の定数について適正と考えているか <u>不適正（定数は多い） 5人</u>、<u>適正 4人</u></p> <p>○議会運営全般について</p> <p>(ア) 現在の議会運営について、どのように評価するか <u>概ね評価できる 5人</u>、<u>評価できる 2人</u>、あまり評価できない 2人</p> <p>(イ) オンライン開催について、より柔軟な対応とすることをどのように考えるか <u>より拡充すべき 7人</u>、<u>現状維持 1人</u>、その他 1人</p> <p>(ウ) 夜間や休日開催等について、どのように考えるか <u>夜間、休日開催のいずれもすべき 4人</u>、<u>現状維持 3人</u>、<u>その他 2人</u></p> <p>○議員の処遇について</p> <p>(ア) 報酬額について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えるか <u>現状維持 4人</u>、<u>増 4人</u>、その他 1人</p> <p>(イ) 政務活動費について、増、減、現状維持のいずれが適当と考えるか <u>現状維持 5人</u>、<u>増 3人</u>、その他 1人</p> <p>○市民との関係について</p> <p>(ア) 市民との距離感について、現状をどのように評価しているか <u>近い 4人</u>、<u>遠い 1人</u>、<u>その他 4人</u></p> <p>(イ) 市民との信頼関係について、現状をどのように評価しているか <u>概ね構築できている 6人</u>、<u>構築できている 1人</u>、あまり構築できていない 1人、その他 1人</p>		<p>第1回 <u>資料 2-1</u> 第1回 <u>資料 2-2</u> 第2回 <u>資料 7</u> 第2回 <u>資料 8-2</u> 第2回 <u>資料 8-3</u></p>